

第8回 日本免震構造協会賞 -2007-

第8回日本免震構造協会賞は、右に記す諸氏及び作品を表彰することに決定した。

表彰制度の目的

免震構造の技術の進歩及び適正な普及発展に貢献した者並びに建築物を表彰することにより、免震技術の確実な発展と安全で良質な建築物等の整備に貢献していくことが本協会の表彰制度の目的である。

表彰の対象

功労賞は、多年にわたり免震構造の適正な普及発展に功績が顕著な者に、技術賞は、免震建築物の設計、施工及びこれらに係る装置等に関する技術としての優れた成果にそれぞれ贈る。作品賞は、免震構造の特質を反映した、優れた建築物とする。

表 彰

2007年6月7日

(社)日本免震構造協会通常総会後

(社)日本免震構造協会表彰委員会委員

神田 順 (委員長) 岡部憲明 小幡 学
河村壮一 北村春幸 平島 寛 村井義則
六鹿正治

審査経過

本年度の日本免震構造協会賞のうち、功労賞については、応募がなく見送った。技術賞については、3件、作品賞については、8件、計11件の応募があり、慎重審議の上、委員会で技術賞1件、作品賞3件を選定し、推薦することを決定した。

初回委員会において、事前を送付された応募書類をもとに意見交換を行い、技術賞に関しては、3件をヒヤリングの対象に、作品賞は6件を現地審査の対象に選出した。

技術賞としては、免震技術がさまざまな形で展開されてきている状況の中で、開発成果の独創性、一般性など優れた成果としてのアピールが問われるが、本年は、柱脚周りに限定された補強機構を用いた中間層免震レトロフィットに対して、技術の可能性を広げた成果を認め、表彰委員会で一致して選定した。

選 考 結 果

第8回日本免震構造協会賞受賞は下記の4件である。

I 技術賞

- 1) 柱脚周りに限定された補強機構を用いた中間層免震レトロフィット
株式会社日建設計 向野聡彦、小野潤一郎、木村征也

II 作品賞

- 1) 国立新美術館
株式会社黒川紀章建築都市設計事務所 黒川紀章
株式会社日本設計 人見泰義、中村 伸
鹿島建設株式会社 大野平雄
清水建設株式会社 田中純一
- 2) 東京建設コンサルタント新本社ビル
株式会社東京建設コンサルタント 岸 輝親
株式会社松田平田設計 藤森 智
清水建設株式会社 竹内雅彦、斎藤利昭、野口高行
- 3) 味の素グループ高輪研修センター
味の素株式会社 坂倉一郎
株式会社久米設計 嵐山正樹、依田博基、渡瀬利則
大成建設株式会社 平田尚久

(敬称略)

作品賞については2月から3月にわたって現地審査を実施した。建築作品としての空間構成や免震建築としての使われ方について、担当者から直接に説明を受け質疑応答の機会をもった。今回は建築用途上、内部の視察が困難な例があった。基本的には応募される以上は、内外部とも十分な紹介が可能であることを前提とされるべきと考えるが、審査にあたっては不十分な現地審査を考慮の上で実施した。

作品賞への応募作品からは、例年、質の高い建築が増えて来ていることが感じられ、免震構造という特性が建築空間に生かされており、現地審査においても、そのことが実感されるものであった。

最終的に選定された3件は、いずれの作品も建築空間の展開において免震構造としての特性を生かしており、また総合的にも優れた建築作品として高く評価されるものとして、表彰委員会で一致して選定した。

技術的に工夫された作品が、それだけで必ずしも優れた建築物としての評価に至らない場合があるが、応募技術や作品はいずれも免震構造の質の高い発展に寄与するものであり、今回の応募者にお礼申し上げるとともに、今後も会員の積極的な応募に期待する。

(神田 順)